
【研究助成・出版助成】の企画を募集します

「神の言葉に根ざす積極的な神学は主として教会に奉仕し、その信仰を整理し、訓練し、これを力づけ、また教会のよって立つ信仰を文化の世界に伝達するものである。」(高倉徳太郎)

本教会は〈教会の神学〉を主張し、〈教会の宣教に資する神学〉の重要性を訴えた創立者の志を受け継ぎ、本年度も《研究助成》および《出版助成》を行います。上記の趣旨に則した企画を奮ってご応募下さい。

応募要項

《研究助成部門》 キリスト教神学・キリスト教思想に関する個人研究ないし共同研究。研究期間は「助成」決定から2年以内とします。

《出版助成部門》 キリスト教神学の著作(それに類する学問領域も可)。原稿は日本語によるもの、出版社が決定しているものを対象とします(自費出版は対象外)。申請は1出版社1点に限ります。

*助成金額 1*につき50万~100万円の範囲で助成します。

研究助成の成果は公刊または講演等の形で報告する義務を負います。

*受付期限 2017年11月30日(木) (厳守)

*応募資格 特に問いません。若い世代からの応募を期待します。

*送り先 信濃町教会 ☎160-0016 東京都新宿区信濃町30

提出資料:申請書3部(本教会の下記ホームページの「神学研究・出版助成金」から印刷できます)。出版助成は原稿3部(受理後は採否にかかわらず返却いたしません)。送付する封筒の表に〈助成申請〉と記して下さい。

*採否発表 本教会内に設けられた「神学教育研究資金運営委員会」で審査し、2018年4月7日(土)までに全応募者に書面で通知します。

*問い合わせ ☎03(3351)4805(火)~(金)午前10時~午後5時 fax.03(3351)9847

◀これまでの助成の事例▶

【研究助成】 1.《日本の教会における聖餐に関する実態調査と神学的検討》(代表・宮谷宣史)
2.《日本におけるバルト神学受容史》(代表・雨宮栄一) 3.《キリスト教的視点からの人間の尊厳と深淵》(代表・向井考史) 4.《新約聖書注解と現代の宣教》(代表・中野実) 5.《松山高吉の宗教及び神学思想と聖書翻訳の再評価》(代表・洪伊杓)

【出版助成】 1.木村公一著『インドネシア教会の宣教と神学』(新教出版社) 2.関田寛雄著『断片の神学』(日本キリスト教団出版局) 3.バルト神学受容史研究会編『日本におけるカール・バルト』(新教出版社) 4.木原桂二著『ルカの救済思想』(日本キリスト教団出版局) 5.呉寿恵著『在日朝鮮基督教会の女性伝道師』(新教出版社) 6.『並木浩一著作集 全3巻』(日本キリスト教団出版局) 7.加藤哲平著『ヒエロニムスの「ヘブライ的真理」の研究』(教文館・未刊)